

令和2年度 保育所における自己点検・自己評価

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に行かせる方向で記入する。

[記入方法]

- A=大変良い、B=良い、C=一部検討、D=改善を要するの4段階評価。
- 項目ごとに、意見・改善策を記述。

評価点検者	保育園名	東清水保育園
氏名	役職	主任保育士
		平田真由美

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			全職員が共通理解できるように繰り返しミーティングを行い、内容を掲示見える化した。次年度も引き続き行う。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			(4)職員が用具を大切に、整理整頓を心がけることが大切 (5)評価反省をしっかりと行い、保育の改善に努めたい。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。			○		
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				現行で良い
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			(2) (4)年間行事に向けての日々の保育につながるの保育が多く見られる。計画・実施・評価・改善に努めたい (3) (5)感染症の影響で園外活動は中止せざるを得なかったが、園内行事は保護者願いや意見を取り入れて、観覧等を工夫(動
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		適切に行われている。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		職員会議は能動的に意見を言える環境作りに努めたことで以前より会議が活発になってきている。確認事項はミーティングで共有した。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		(1)~(3)次年度は短期・長期のねらいを月案・週案におろし、見通しを持った保育を深めることに努めたい (4)年度途中まで異年齢児間の活動を行事限定で行うことがほとんどだったが、後半より、日常でも効果的な保育が充実してきた。次年度はさらに充実させていきたい。	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか。		○		(1)玩具はジョキナールや殺菌庫で消毒 保育室は噴霧器消毒 (2)避難訓練は月1回 (3)送迎時の安全等声かけや掲示で啓発	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
	研究・研修	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		外部講師による単園指導を受け、日常の保育にいかせるよう努めた。 次年度は更に理解を深める手立てが必要。
			(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○		
			(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○			
所外研		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。			○	(1)参加態勢をとっていたが感染症対策で中止が多い (2)キャリアアップ研修を日常の保育に活かすこと	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。			○		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○			適切に取り扱っている。		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		(2)職員の整理・保管への意識を高めるために繰り返しミーティングを行い働きかける		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。			○			
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			(3) (5) 感染症対策で交流会等が中止となったが、保育の共通理解が図れるように主任会等で話し合い、園内研修を行い、保育に活かした。 (4) 感染症対策で中止
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		感染症対策で地域の方との交流は中止もあったが形式を変えて(ビデオレター)行うなど工夫した。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。				○
(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。						○	(4) 子育て相談は臨床心理士と公認心理師の園長が相談をうけた。
(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。						○	(5) 梅野小児科より情報をいただき、掲示で情報を提供した。
(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。				○			
(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。			○				
情報の発信		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
外部評価		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			